

漢字のなりたち

そのてまえのかたち

— 金子都美絵

白川静文字学を描く



●上から風・雲・雨・申の甲骨文字

2021年 8月12日(木) ~ 9月20日(月・祝)

【開館時間】 9:30 ~ 17:00 【休館日】 月曜日 (ただし9月20日は開館)

【会場】 1階 ギャラリー 【観覧料】 無料

【ギャラリートーク】 8月29日(日) 14:00 ~ 15:00

講師 / 金子都美絵 (画家) ※ 先着 30人 (申込必要)

言の葉ミュージアム

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 tel. 088-625-7485 fax. 088-625-7540
ホームページ <http://www.bungakushodo.jp> ☒ kotonoha@bungakushodo.jp

ひとつの漢字が生まれる背景には、はかり知れない悠遠な人類の記憶が刻まれている――。

独創的な視点で漢字のなりたちを解き明かした東洋学者・白川静。その一場面一場面を絵で表した画家・金子都美絵。

今回の展覧会ではおよそ50点の作品を、解説つきで紹介いたします。深遠なる漢字のなりたちの世界に、

一步、足を踏み入れてみませんか。

しらかわ・しずか

1910年、福井県生まれ。立命館大学法文学部卒業。立命館大学名誉教授。おもな著書に『白川静著作集』『金文の世界』『甲骨文の世界』『詩経国風』『詩経雅頌』『文字逍遙』『文字遊心』『漢字の世界』『文字講話』『文字講話 甲骨文・金文篇』『桂東雑記』、漢字の成り立ちを知る字源辞典『字統』、日本語と漢字の出会いを探る古語辞典『字訓』、字書三部作の挿尾を飾る漢和辞典『字通』、漢字どうしの繋がりが見える辞典『漢字の体系』など。2004年、文化勲章受章。2006年没。

かねこ・つみえ

1963年、東京都生まれ。徳島市育ち。東京造形大学絵画科版画専攻卒業。白川静文字学を画本にする仕事として『絵で読む漢字のなりたち』『白川静文字学に学ぶ漢字なりたちブック』(全7巻)、『新版101漢字カルタ』『ようちえんかんじカルタ』『文字場面集 一字一絵』(いずれも太郎次郎社エディタス)、『白川静の絵本 サイのものがたり』『白川静の絵本 死者の書』(いずれも平凡社)などのほか、古代文字フォント「春秋-tsu」を制作、無料配布している。



【集】：たくさん(鳥)が木にあつまる形



【白】：白骨化した頭顱の形



ギャラリートークには申し込みが必要です。はがき・Fax・メールのいずれかに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、「8/29 ギャラリートーク」とご記入の上、お申し込み下さい。当館1階受付でも申し込みます。



【希】：透かし織りの布のむこうに見えるもの



【保】：人と子と裸の形



【雪】：空から羽状のものが舞い落ちる形



交通アクセス (JR 徳島駅から)

- ◇ 徒歩 約15分
JR 徳島駅西側のポツポツ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つめの信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。
- ◇ バス
[徳島市営バス] 7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗り。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。
[徳島バス] 2番乗り場「前川経由」に乗り。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。
- ◇ タクシー・自動車 約5分
国道192号線、藍場町交差点を北進、助任川を渡り、4つめの信号を右折して約300m。
- ◇ 駐車場
当館北側にあります(43台・大型バス2台)。

